

Saturday

6/16

子どもたちが熱い思いを熱弁

多久市青少年育成市民大会・多久市少年の主張発表会



▲それぞれの熱い思いを発表



▲青少年育成市民大会での表彰の様子

多久市青少年育成市民大会と多久市少年の主張発表会（主催：多久市青少年育成市民会議・多久ライオンズクラブ）が、中央公民館で開催されました。青少年育成市民大会では、市の青少年育成に長年貢献した9人が表彰されました。少年の主張発表会では、義務教育学校3校の代表16人が、約120人の聴衆を前に将来の夢や環境問題、平和に対する意見を堂々と発表しました。

【青少年育成市民大会表彰者】

北川 榮さん、諺江 珠美さん、岡島 智子さん、田代 功さん、永松 亀一さん、西村 勝行さん、古川 弘さん、貫藏寺 厚子さん、行真 博さん

【少年主張の表彰者】

東部校6年生 野田 祐真さん/テーマ「限りある資源」
 中央校6年生 林口 才造さん/テーマ「かがやく自分～ぼくの宝物～」
 西浜校9年生 古賀 唯可さん/テーマ「みんな仲の良い世界～言葉の大切さについて～」
 中央校9年生 冢永 咲葵さん/テーマ「未来に向かって」

Tuesday

6/19

熱いエールを多久からロシアへ!!

ワールドカップをパブリックビューイングで



▲T-SPORTS代表の吉浦さん

6月14日に開幕した「2018FIFAワールドカップ」。日本初戦の対コロンビア戦を応援しようと、あいぱれっとでパブリックビューイング（主催：T-SPORTS）が開催され、150人の観客が集いました。

会場には、大型スクリーン3台が設置され、21時のキックオフ早々、PKで日本代表がゴール決めると会場は大いに盛り上がり、日本勝利の瞬間には、全員が立ち上がり「やった!」「ありがとう!!」と拍手を送りました。

T-SPORTS代表の吉浦 剛さんは「平日の夜にもかかわらず、多くのサッカーファンに集まっていただき嬉しいです。多久でのサッカー人気を実感しました。今後もスポーツを通じて、地元多久を盛り上げていきたいです」と話されました。



▲3方向の大画面スクリーンで観戦



▲寄贈されたデジタルサイネージ

公民館の利便性向上に期待!

中央公民館にデジタルサイネージが登場!



YouTube で動画が見えます!



Wednesday

6/27



▲横尾市長へデジタルサイネージのリモコンを手渡す西川社長

株式会社多久ケーブルメディアから多久市へ「デジタルサイネージ」が寄贈され、設置する中央公民館で贈呈式を行いました。贈呈式では、西川潤一代表取締役社長から市長へ目録が手渡されました。

デジタルサイネージとは、デジタル技術を用いて、催しなどの情報をディスプレイに映し出す電子機器。市民や来館者に、館内の催しなどをモニターでお知らせできる効果的な広報ツールとして期待されます。

西川社長は「デジタルサイネージは目に留まりやすく、情報を知るきっかけになる。これからどんどん活用してほしい」と話されました。

まちのわだい